

【主担当部局：雇用経済部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

第4次産業革命等が進展する中、県内ものづくり企業が、産学官連携や自社の特徴・強みを生かし、技術的な課題解決をはじめ、自動車産業の構造変化に対応し、航空宇宙等の新たな分野・事業にチャレンジするなど、時代の変化に適応することで、引き続き、本県経済をけん引しています。また、それを支える技術人材の育成が進んでいます。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内ものづくり企業の新たな製品開発や事業化等につながった件数（累計）		26件		53件		110件
	—					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	次世代自動車や航空宇宙等の次世代ものづくり産業をはじめとする県内ものづくり産業の振興に向け、県内企業が、県の技術支援や技術交流会等を活用し、新たに製品開発や事業化等につなげた件数					
3年度目標値の考え方	新たな製品開発や事業化等につながる取組を促進することにより、平成30年度実績（25件）から毎年1件ずつ増加させることをめざし、令和3年度の目標値を53件に設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
技術開発や技術課題解決に向けた共同研究等に取り組んだ企業数（累計）		36社		73社		150社
	—					
技術人材育成講座等の参加企業数		100社		100社		100社
	105社					
四日市コンビナートの競争力強化・先進化に向けた取組数		5件		5件		5件
	5件					

## 現状と課題

- ①県内ものづくり中小企業等は、新型コロナウイルス感染症の影響や自動車産業の「CASE<sup>注）1</sup>」への対応など100年に一度の大変革期を迎えています。この変革に対応し、本県経済が回復・反攻勢を図っていくためには、県内総生産の39.3%、就業者数の25.4%を占める県内ものづくり企業に対し、企業の実情をふまえ、集中的に支援を行う必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染リスクがなくなる状況の中で、企業のDXを原動力に企業活動全体の生産性向上を図るとともに、あらゆる場面で非対面・非接触ビジネスが展開される「新たな日常」に対応した新しい「三重のものづくり産業」の振興を加速化していくことが必要です。
- ②また、ものづくり企業が新たな製品開発や事業化等を実現していくためには、新技術の開発、技術の高度化、コスト削減、人材育成など、企業の状況に応じた中長期的な支援を行うとともに、行政をはじめ、研究機関、高等教育機関、産業支援機関が一層の連携を図っていく必要があります。
- ③航空宇宙産業は、新型コロナウイルス感染症の影響等により厳しい状況に陥っています。航空機需要等の動向もふまえながら、事業継続に向けた取組を進めるとともに、各企業が持つ強みを生かし、新たな事業展開等への挑戦を支援していく必要があります。また、航空宇宙等をはじめとする次世代ものづくり産業をけん引する技術人材を育成していく必要があります。
- ④国内市場の縮小や厳しい国際競争に晒されている石油化学産業において、今後も本県のものづくり産業を支える四日市コンビナートが国際的な競争力を維持・強化できるよう、DXの取組を推進しながら、生産性の向上を図るとともに、それを担う技術人材を育成する必要があります。
- ⑤新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、海外サプライチェーンからの部品調達の遅れや大手メーカーの生産調整、営業活動の制限により、ものづくり中小企業の販路開拓機会が激減しており、あらゆる場面における非対面・非接触ビジネスが展開される「新たな日常」にも対応しながら、多様なマッチング機会を創出していく必要があります。

注）1 CASE：「C」コネクテッド（つながる）、「A」自動化、「S」シェアリング／サービス、「E」電動化といった自動車を取り巻く大きな環境の変化のこと。

## 令和3年度の取組方向

- ①これまで構築してきた産学官金ネットワークにより、県内ものづくり企業が持つ強みを生かした新たな事業展開やDXの推進をさらに支援し、企業活動全体の生産性向上を図るとともに、あらゆる場面で非対面・非接触ビジネスが展開される「新たな日常」に適応した新しい「三重のものづくり産業」の振興を進めていきます。また、県内ものづくり企業の安全で安定した経営による事業継続と他分野・新たな業種への開拓を促進するため、県内ものづくり企業自らが提案能力を身につけ、自社の強みを生かした新たな事業展開等に挑戦する企業を支援していきます。加えて、航空宇宙産業については、引き続き認証取得に向けた支援や特区制度を活用した設備投資支援等を行っていきます。
- ②県内ものづくり企業が抱える技術的課題の解決や基盤技術の強化のため、県工業研究所が保有する設備や知見等を活用し、引き続き「町の技術医」として技術相談や依頼試験、機器開放等のきめ細かな支援を行うとともに、みえ産学官技術連携研究会の活動を通じた共同研究等に取り組みます。また、高度部材イノベーションセンター（AMIC）を中心に、東京大学や三重大学等の先端的な研究を行う高等教育機関との産学官連携による共同研究等を通じ、県内ものづくり企業の新たな製品開発や高付加価値化を促進していきます。

- ③本県のものづくり企業の競争力強化を図るため、次世代自動車や航空宇宙等をはじめとする次世代ものづくり産業をけん引する技術人材を、関係機関と連携しながら育成していきます。
- ④本県のものづくりを支える四日市コンビナートの競争力強化を図るため、四日市市等と連携し、産学官による協議の場を通じて課題やニーズを共有し、コンビナートのスマート化による生産性向上等の検討に取り組むとともに、DX推進に向けたプラント技術人材の育成等を支援していきます。
- ⑤ものづくり中小企業の新たな取引先の開拓や新分野への進出等を促進するため、オンラインでの商談会等も含めて大手企業等との技術交流機会を提供していくことにより、自動車関連産業における「CASE」や新型コロナウイルス感染症により変化が予想される大手企業の開発・技術動向を知る機会を創出していきます。

## 主な事業

### ① 中小企業・小規模企業の課題解決支援事業

【基本事業名：32201 ものづくり基盤技術の強化・産学官連携の促進】

予算額：(R2) 51,835千円 → (R3) 73,597千円

事業概要：県内中小企業・小規模企業が抱える技術課題を解決するため、企業ニーズに応じて共同研究等を実施するとともに、依頼試験や機器開放、人材育成等を実施することにより技術支援を行います。

### ② 高度部材に係る研究開発促進事業

【基本事業名：32201 ものづくり基盤技術の強化・産学官連携の促進】

予算額：(R2) 78,128千円 → (R3) 27,568千円

事業概要：高度部材イノベーションセンター（AMIC）を拠点に、「中小企業の課題解決」、「技術人材育成」、産学官連携による「最先端部材等の共同研究」に取り組み、県内ものづくり企業の新たな製品開発や高付加価値化を促進します。また、三重大学や東京大学地域未来社会連携研究機構など県内外の高等教育機関との連携を強化します。

### ③ みえ産学官連携基盤技術開発研究事業

【基本事業名：32201 ものづくり基盤技術の強化・産学官連携の促進】

予算額：(R2) 104,737千円 → (R3) 104,198千円

事業概要：産学官が分野横断的に連携し、企業の新技術導入を促進する研究会を開催し、県内企業の基盤技術力の向上や、地域経済を牽引する産学官プロジェクトの創出を図ることによって、県内ものづくり企業の競争力の強化や付加価値額の増大につなげます。

### ④ 航空宇宙産業振興事業

【基本事業名：32202 次世代ものづくり産業の振興に向けた人材育成と事業環境整備】

予算額：(R2) 11,156千円 → (R3) 8,052千円

事業概要：航空機需要等の動向もふまえながら、事業継続に向けた取組を進めるとともに、各企業が持つ強みを生かし、新たな事業展開等への挑戦を支援します。また、技術等の習得を支援する人材育成、認証取得の支援等による参入促進、国際戦略総合特区制度を活用した事業環境整備などに取り組みます。

⑤（一部新）次世代自動車開発支援事業

【基本事業名：32202 次世代ものづくり産業の振興に向けた人材育成と事業環境整備】

予算額：(R2) 7, 141千円 → (R3) 5, 489千円

事業概要：自動車関連企業等をはじめとする県内ものづくり中小企業・小規模企業等それぞれが有する「固有技術」（技術や製品における自社の強み）や、試作から流通・検査の各工程の強みを棚卸し、「固有技術」の磨上げと自社の強みを売り込む「提案力の向上」を企業のDXを推進しながら支援し、安全で安定した経営と他分野・新たな業種への開拓を図ります。

⑥四日市コンビナート競争力強化事業【基本事業名：32203 四日市コンビナートの競争力強化】

予算額：(R2) 744千円 → (R3) 594千円

事業概要：四日市臨海部工業地帯を、引き続き競争力を有する石油化学産業の集積地としていくため、ビッグデータ、IoT・AI等のデジタル技術を活用したスマートコンビナート化による生産性向上や技術人材育成、強靱化等を進めます。

⑦（一部新）国内販路開拓支援事業【基本事業名：32204 ものづくり企業の販路開拓の促進】

予算額：(R2) 2, 500千円 → (R3) 12, 768千円

事業概要：ものづくり中小企業・小規模企業の販路拡大の機会を創出し、新たな取引先の開拓を支援するとともに、川下企業のニーズの把握や、ネットワークの構築・強化を図るため、川下企業等との技術交流会（展示会・個別商談等）を開催します。